

希望郷

いわて

「岩手県自殺予防宣言」

～ みんなでつながろう いのちとこころの絆 ～

本県では、行政、保健・医療、教育、労働など 48 の関係機関・団体が集結した「岩手県自殺対策推進協議会」を設置するとともに、数次にわたって「自殺対策アクションプラン」を策定し、官民一体となって自殺対策に取り組んできました。

また、東日本大震災津波で甚大な被害を受けた本県では、県内関係機関や団体等による取組のほか、国内外からこころのケアや健康づくりなどに関する数多くの御支援、御協力をいただき、自殺防止の取組が行われています。

こうした取組により、自殺者数が最も多かった平成 15 年の 527 人から平成 26 年は 341 人と、186 人減少し、長期的には、減少傾向にあります。

しかしながら、全国的に自殺者が減少している中、本県の自殺者は、一昨年から 2 年連続で増加し、平成 26 年の人口動態統計では、自殺死亡率が全国で最も高くなったところであり、このような現状を踏まえ、社会経済情勢の変化等に適切に対応した取組を推進していくことが必要です。

一人でも多くの自殺を防ぐため、本協議会の構成機関・団体はもとより、行政、関係団体、学校、職場などが、積極的に連携・協力し合って、それぞれの役割に応じて、県民とともに自殺予防に取り組む社会づくりに向けて、次のとおりアピールします。

1 理解の輪を広げる

県民一人ひとりが心の健康問題の重要性を認識し、自分や身近にいる人の心の不調に気づき、適切に対処できるよう、理解の促進を図ります。

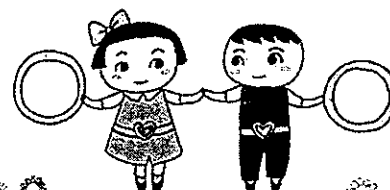
2 連携の輪を広げる

それぞれの地域が自らの地域の課題に対応した自殺対策を推進するため、地域の関係機関・団体が参画するネットワークにより連携して取り組みます。

3 行動の輪を広げる

自殺を防ぐ活動が全県に広がるよう、積極的な普及啓発活動などに取り組みます。

平成 27 年 7 月 22 日
岩手県自殺対策推進協議会



つながるガールちゃんとささエール君